

科 目	情報 I	学年・類型	1 年・普通科、国際文理科	単位数	1
教科書	実教出版「高校情報 I Python」				
副教材等	実教出版「高校情報 I Python 学習ノート 新課程版」				
学 習 目 標	1 情報化の進展する社会の特質と、そのような社会と人間の関わりについて理解する。 2 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識・技能を身に付ける。 3 問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用する態度を養う。				
学 習 心 得	1 実習時間が限られているので、教室の移動等速やかに行うこと。 2 指示をよく聞き、共用の機器や備品を大切に扱うこと。 3 課題の提出期限を厳守すること。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	・情報社会	・情報の特性について学ぶ。 ・問題解決の手順や手法を学ぶ。 ・情報セキュリティについて学ぶ。 ・個人情報の利用について学ぶ。 ・著作物と権利について学ぶ。			
二 学 期	・デジタル	・データの特徴について学ぶ。 ・2進数や加算器について学ぶ。 ・音や画像のデジタル化の仕組みを学ぶ。 ・ハードウェアとソフトウェアについて学ぶ。			
三 学 期	・ネットワーク	・LANとWAN、サーバについて学ぶ。 ・IPやドメインについて学ぶ。 ・各種プロトコルの仕組みを学ぶ。 ・情報システムの具体例を学ぶ。 ・データベースの役割を学ぶ。 ・フィルタリングや暗号化について学ぶ。			

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	・定期考査 ・授業中の活動への取組 ・確認テスト ・ルーブリック評価
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	・定期考査 ・レポートの内容 ・発表の内容 ・ルーブリック評価
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	・授業中の活動への取組 ・提出物における記述 ・ルーブリック評価